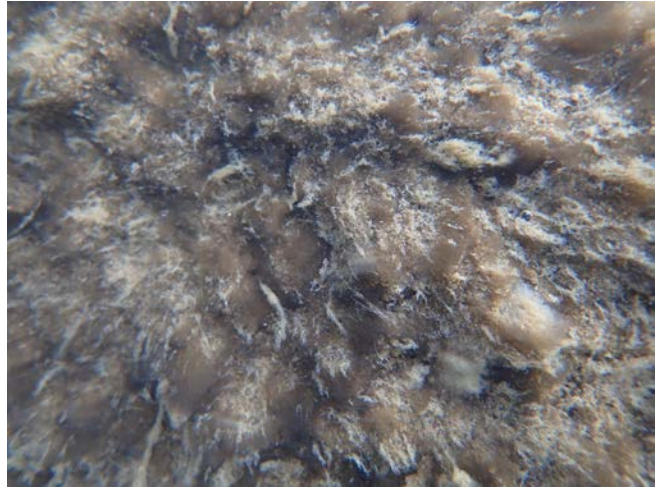


# 塩で防げ！外来藻類 ミズワタクチビルケイソウ



- ・外来生物と考えられるミズワタクチビルケイソウ（*Cymbella janischiei*）は、0.1ミリ程度の微細な藻類です。繁茂するとミズワタのような群生をつくり、魚類、水生昆虫の生息や生育だけでなく、仕掛けに藻がまとわりつくなど、釣り自体にも支障をきたすことが懸念されます。
- ・令和3年時点で、東北、関東、中部、九州地方の複数の河川から、既に確認されています。
- ・外来藻類は、侵入河川で使用した釣り具やたも網、長靴、ウェーダーなどに付着するので、その後、殺藻せずに他河川で使用すると拡大させてしまいます。
- ・これ以上拡大しないように、釣り人自身の対策も必要です。川で使った道具はすべて殺藻しましょう！

令和4年3月  
水産庁

国立研究開発法人 水産研究・教育機構  
全国内水面漁業協同組合連合会  
長野県水産試験場

詳しくは裏面へ！



# 3つの有効な殺藻方法

## ★ 食塩水 5%\*以上

\*1リットル弱の水に50gの食塩を溶かす

釣り具についたミズワタクチビルケイソウは、濃度5%以上のたっぷりの食塩水に1分以上浸すことで殺藻できます。

ウェーダーのフェルトは、特に念入りに!

## ——塩が使えない場合——

食塩水に浸したくない道具には、下記の方法も可能です。

いずれかの方法で、必ず殺藻しましょう。

## ○ お湯 60℃以上

60℃以上のたっぷりのお湯に1分以上、漬けてください。

## ○ エタノール 50%以上

釣り具が濡れている場合は、水気をかたんに切ったあと、消毒用アルコールを十分に吹きかけてください。



※ミズワタのようなものが繁茂しているのを発見したら、漁協や都道府県の水産試験場などに、速やかに報告をお願いします。

## 参考

- 1 このリーフレットで紹介した情報についてご不明な点がありましたら、水産研究・教育機構水産技術研究所内水面グループにお問い合わせください。
- 2 このリーフレットに掲載した図表や写真を転載する場合には、水産研究・教育機構沿岸生態システム部内水面グループに許諾を求めてください。